

5 宇部市の他地域との結びつきにはどのような特色があるだろうか

ここからは、「宇部市と他地域との結びつき」を通して、宇部市の地域的特色について考えていきます。みなさんは、「他地域との結びつき」と聞いて、どんなイメージをもちますか。

わたしたちの生活は、世界や国内の他の地域との結びつきの影響を受けながら日々変容しています。「他地域との結びつき」とは、例えば「高速道路など地域の交通網が開通したことで、物や人の移動にどのような変化がでてきたか」や「インターネットの普及など通信網が発達したことで地域の生活にどのような変化がでてきたか」などの特色をいいます。これまでみてきた自然環境や人口など宇部市の地域的特色と関連付けながら、宇部市と他地域との結びつきの特色をみていきましょう。

(1) 山口県のおもな交通網

山口県は、本州の西端に位置し、本州と九州を結ぶ交通の要衝です。県内には、山陽自動車道・中国自動車道などの高速道路、山陽本線、山陰本線、美祢線などの鉄道や山陽新幹線が走り、人やものの移動が便利です。このほか、福岡県と山口県の県境には、関門海峡があり、日本海と瀬戸内海を結ぶ重要な航路です。この海峡には、関門トンネル、関門橋があり、本州と九州の行き来が容易になっています。また、山口宇部空港は、山口県の空の玄関口です。

◎ 山口県のおもな交通網



「山口県HP」から

◎ 本州と九州を結ぶ 陸路・航路



◎ 空の玄関口 山口宇部空港 大型飛行機が発着できる2500m滑走路



(2) 宇部市の陸、海、空の結びつき

現在、宇部市では高速道路、港湾、そして空港といった交通網の整備が着々と進んでいます。これに伴い、私たちの生活はより便利になってきましたが、その一方で課題も挙げられます。それでは、「陸と海と空の交差点～宇部市」の姿を見ていきましょう。

① 陸の結びつき

宇部市内にはどのような交通網が整備されているのでしょうか。

陸上では道路、鉄道が挙げられます。宇部近隣では山陽自動車道の高速道路、一般道として国道2号線を始め国道190号線・490号線などの国道から県道、市道が通っています。

近年は、山口宇部道路の無料開放や、宇部湾岸道路の開通など、様々な道路整備が進められています。

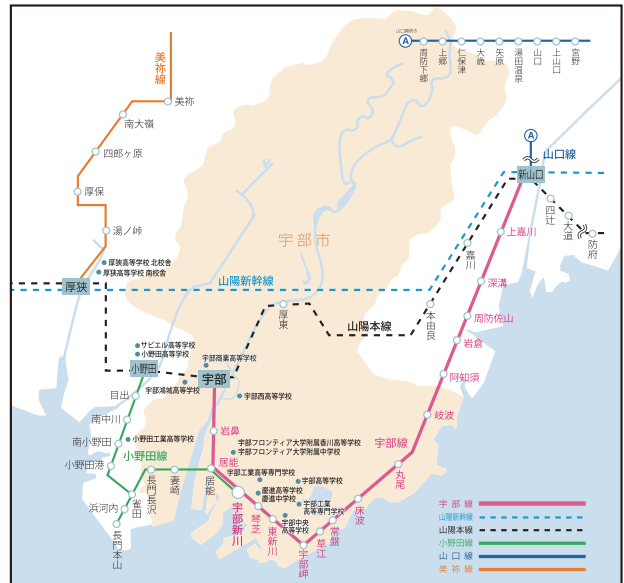
また、市内には路線バス網や山陽本線・宇部線などの鉄道路線が整備されていますが、近年は自家用車の普及により、公共交通機関を利用する人が減少し、路線や便数の減少につながっています。公共交通機関をどのように維持していくかが今後の大きな課題となっています。

【やってみよう】

右の表は、JR宇部線の各駅の1日平均旅客数を表しています。

- 平成18年度と平成24年度を比べるとどのようなことが言えますか。
- これらの駅は、宇部の中でどのような場所ですか。他の地域的な特色と関連づけて考えてみましょう。

◎ 宇部市周辺のおもな交通網



「宇部市公共交通マップ」から

◎ JR宇部線各駅の1日平均旅客数

駅名	1日平均旅客数（人）	
	平成18年度	平成24年度
上嘉川	60	52
深溝	73	61
周防佐山	74	57
岩倉	41	36
阿知須	352	304
岐波	165	210
丸尾	266	236
床波	359	309
常盤	111	128
草江	84	83
宇部岬	228	212
東新川	371	393
琴芝	634	641
宇部新川	1,277	963
居能	224	182
岩鼻	427	294

「JR西日本HP」から

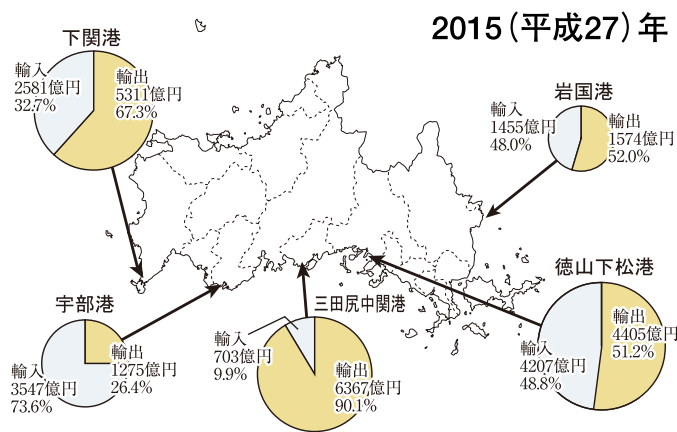
② 海の結びつき

ここでは、宇部の海の玄関口「宇部港」と貿易を関連付けて「他地域との結びつき」の特色を見てみましょう。

宇部市南部は、周防灘に面しています。昭和初期に炭鉱の廃土（ボタ）で埋め立てが行われ、近代的な港である「宇部港」が建設されました。宇部港は、1951（昭和26）年に重要港湾の指定を受け、国・県・市により各種の港湾施設の整備・拡充が図られました。近年では、大型船舶の接岸可能な岸壁を完成させました。また、1990（平成2）年に植物検疫港としての指定を受け、国際貿易港としての機能の拡充も図ってきました。そして、現在は、「宇部港湾計画」に基づき、港湾施設の整備と機能の拡充を図っています。

2015（平成27）年の宇部港での貿易額は、およそ4822億円で、これは県内の主要な港のうち4番目の多さです。貿易額のうち、輸出額は1275億円、輸入額は3547億円で、輸入超過ということがわかります。すなわち、宇部港は、輸入港としての役割が大きいことがわかります。

◎ 山口県内の主要な港での輸出入額



「下関・宇部・岩国・徳山(各)税関支署管内貿易概況」から

◎ 宇部港の主な貿易相手国

貿易額上位5カ国（2015年）

	輸 出	輸 入
1	大韓民国	サウジアラビア
2	中華人民共和国	オーストラリア
3	アメリカ合衆国	アラブ首長国連邦
4	シンガポール	クウェート
5	スイス	インドネシア

「宇部税関支署管内貿易概況より」から

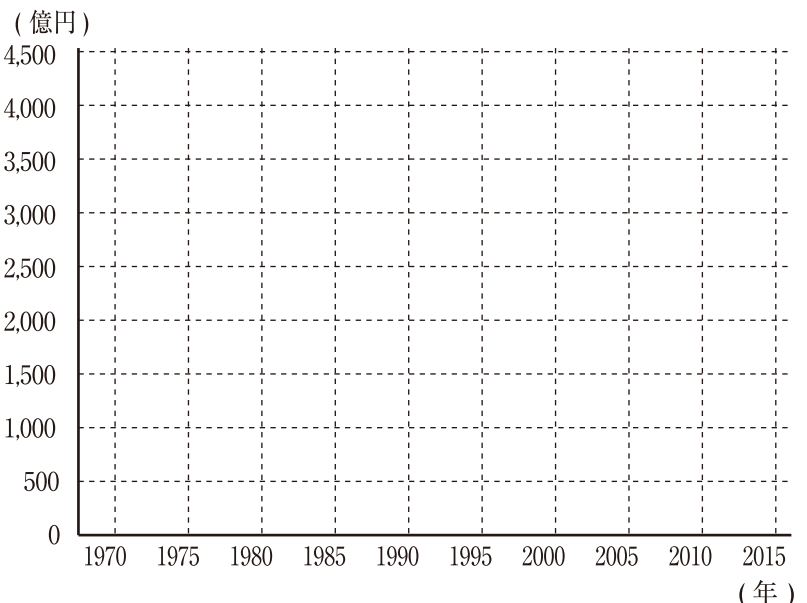
下表は、宇部港における輸出額、輸入額の推移を示しています。表をもとにグラフを作ってみよう。

◎ 宇部港における貿易額の推移

年	輸出額	輸入額
1970	100	95
1975	462	1221
1980	832	3644
1985	696	2729
1990	513	1493
1995	561	1040
2000	540	1040
2005	895	2683
2010	976	3698
2015	1275	3547

(単位：億円)

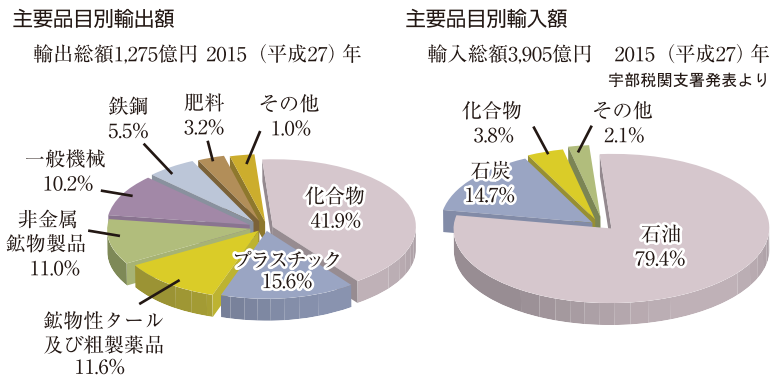
「宇部税関支署管内貿易概況(2015年)」から



【やってみよう】

- 宇部港へはどのようなものが主に輸入されていますか。
- 主要品目別輸出入額のグラフから特色を調べてみましょう。
- また、それらはどこの国から輸入されているのでしょうか。

◎ 宇部港の主な貿易品目



③ 空の結びつき

つぎに、空の結びつきについてみていきましょう。山口県の空の玄関口と言えば「山口宇部空港」ですね。みなさんの中には、山口宇部空港を利用して、東京などに出かけた人もいることでしょう。

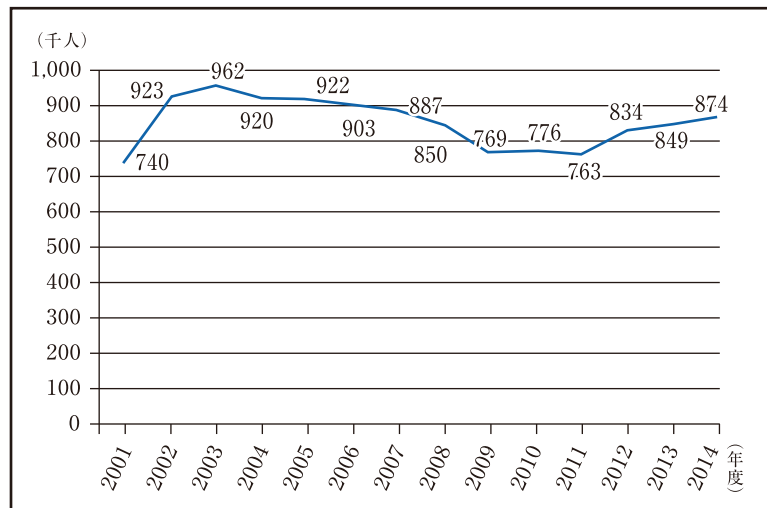
山口宇部空港は、1966（昭和41）年7月に「宇部空港」として利用が開始されました。

開港当時の定期便は、東京便1日1往復と大阪便1日1往復だけで、定員も30～40人程度の小型機で運行していました。

開港後は、大型飛行機が発着可能な滑走路の建設や、国際便が就航できるような環境整備などを行ったりなど、「開かれた山口宇部空港」を目ざして空港機能の拡充が図られています。

年	主なできごと
1966	宇部空港利用開始
1970	東京便2往復
1972	大阪便3往復
1975	東海道・山陽新幹線開通
1977	大阪便廃止
1980	空港名を「山口宇部空港」に改称 国際チャーター便運航開始
1993	札幌便運行開始
1997	沖縄便運行開始
1998	沖縄便運休
2000	空港利用者数1000万人突破
2001	2500m滑走路使用開始 山口きらら博開催
2002	札幌便運休 東京便ダブルトラック化 (全日本空輸5往復、日本航空3往復)
2003	定期便利用者1500万人突破 新山口駅のぞみ停車
2006	開港40周年 新北九州空港開港
2012	山口宇部道路無料化 空港利用者数2000万人突破 岩国飛行場軍民共用化(岩国錦帯橋空港)

◎ 山口宇部空港利用者数の推移



【やってみよう】

- 右のグラフは、山口宇部空港利用者数の推移を表しています。利用客の増減の理由について、右上の年表と関連づけて説明してみましょう。

「山口県統計年鑑 平成27年度版」から作成

(3) 宇部市の国際交流

◇ニューカッスル市(オーストラリア)

ニューカッスル市は、オーストラリアの南東部、ニューサウスウェールズ州の東岸部中央に位置し、シドニーの北東約160kmにある人口約16万人の都市です。市の北西約100kmに広がる豊かなハンター炭田は、オーストラリアで最初に開発された歴史をもっています。世界でもトップクラスの品質を誇るハンター炭は、宇部市をはじめ世界各国に輸出されています。石炭の積出港として、また鉄鋼業などの重工業を中心として発展してきた、州内第2の産業都市です。またウォーターフロントには、マリナーや多くの店が建ち並び、美しい海岸線と豊かな自然を求めて、たくさんの観光客が訪れます。現在ニューカッスル市は工業都市から観光都市へと変わりつつあるところです。



宇部市は1979（昭和54）年に『国際社会の調和ある発展に寄与し、姉妹都市提携による総合的な交流を展開する』ということ掲げ、9カ国21都市を候補として、調査・検討を進めました。一方、市内主要企業においては、1976（昭和51）年以来、石油にかわるエネルギーとして、石炭をオーストラリアから輸入し、経済交流が続いていました。このような情勢の中、1980（昭和55）年、22人の市民有志による豪州親善使節団が、オーストラリアの数都市を視察調査し、帰国後に姉妹都市をニューカッスルが最適であるという趣旨の報告が提出されました。その後、同年、宇部市議会の賛同を得て、ニューカッスル市との姉妹都市提携を決定し、ニューカッスル市において調印式を行いました。

◇威海市(中華人民共和国)

威海市は、中国山東省の最東部に位置する人口約280万人の都市です。日本列島と海を隔てて相対しており、日本と同様に四季が明瞭です。自然に恵まれており、中国北方では観光、避暑、保養地として有名です。三方を海に囲まれており中国最大の漁業産地の1つとなっています。また、地下資源も豊富で、金、鉄、銅など30種類以上の地下資源が採掘されます。威海市の経済は外国資本と結びつきが強く、沿岸対外開放都市としてハイテク開発地区と経済開発地区をもち、タイヤやシルク等の生産がさかんです。



宇部市には、友好都市を結ぶ以前から、威海市のある山東省から多くの来訪者があり、交流が続いていました。古くから地理的、文化的にも深い関わりがある中、山東省の勧めによって1988（昭和63）年から威海市との交流を進めてきました。1991（平成3）年に宇部市において、友好都市の締結についての具体的な協議が行われました。翌年、宇部市から締結に向けての調査団を派遣し、威海市において宇部市・威海市友好都市締結書に両市長が調印しました。

グローバル化が進む世界において、異文化を理解し、グローバルな視野で行動でき、国際社会に貢献できる人材の育成が重要になっています。

宇部市では、このような人材を育成するとともに、本市と姉妹都市（ニューカッスル市）・友好都市（威海市）との友好親善と相互理解を深めることを目標に、1991（平成3）年から、中学生研修派遣事業として、中学生を姉妹・友好都市へ派遣し、ホームステイ、ハイスクール等の訪問を中心とした研修事業を行ってきました。

2015（平成27）年は、本市とニューカッスル市との姉妹都市提携35周年にあたり、従来の中学生研修派遣事業に対して、英語で行う宇部市のPR、現地の大学や日本国政府機関等への訪問などの内容を拡充し、ジュニアグローバル研修事業として実施されました。

【ニューカッスル市との交流のようす】



【威海市との交流のようす】

